第5回殺虫剤抵抗性対策シンポジウム 開催概要

参加申込 準備中

2025/07/17 現在

農林害虫防除研究会の専門委員会「殺虫剤抵抗性対策タスクフォース」は、東京農業大学総合研究所研究会「農薬部会」と、2025年12月に第5回殺虫剤抵抗性対策シンポジウムを合同開催いたします。本開催概要は、農林害虫防除研究会 HP (<https://agroipm.org/irm-sympo/>) にも掲載しています。

1. 日時 2025年12月19日(金) 10:00~17:00
2. 場所 ①会場(対面): 東京農業大学 世田谷キャンパス 横井講堂
②オンライン: Zoom
3. 主催 農林害虫防除研究会, 東京農業大学総合研究所 研究会「農薬部会」
4. 後援 日本植物防疫協会, 日本農薬学会, 日本応用動物昆虫学会(予定), 農研機構,
日本植物病理学会「殺菌剤耐性菌研究会」, 全国農業改良普及支援協会,
東京農業大学総合研究所 研究会「生物的防除部会」

5. 開催趣旨

開催テーマ: 発生生態の理解からはじめる難防除害虫管理と殺虫剤抵抗性対策
～斑点米カメムシを例に～ (仮)

殺虫剤抵抗性対策シンポジウムを、防除関係者の所属の枠を超えた薬剤抵抗性リスクコミュニケーションの場とする。講演・総合討論をとおして、殺虫剤抵抗性管理・対策に関する生産現場の取組みと施策・研究の情報を共有する。今回は、害虫管理における「発生生態の正しい理解の重要性」を討論し、殺虫剤抵抗性対策を考える。

6. プログラム

開会挨拶 農林害虫防除研究会会長 土井誠(静岡県農林技術研究所)

東京農業大学 総合研究所研究会「農薬部会」部会長 梅津憲治(吉備国際大学)

開催にあたって シンポジウムテーマの視点と殺虫剤抵抗性対策タスクフォースの活動概要

山本敦司・土井誠・井口雅裕・野田隆志・山我岳史・刑部正博・清水健・田中千晴・樋口聡志・吉田優里(シンポジウム実行委員会, 農林害虫防除研究会 殺虫剤抵抗性対策タスクフォース)

講演1 発生予察に基づく適期防除が殺虫剤抵抗性対策に役立つ! ~総合防除推進の視点から~
(仮題) 藤井達也・岡田和秀(農林水産省 消費・安全局 植物防疫課)

講演2 斑点米カメムシ類の発生予測・薬剤散布連絡システムの開発
~予察による適期防除の視点から~ (仮題)

松倉啓一郎(農研機構 植物防疫研究部門)

講演3 東北地域における斑点米カメムシ類の発生動向および防除対策(仮題)

大友令史(岩手県植物防疫協会)

講演4 愛知県におけるイネカメムシの防除対策と課題について(仮題)

石川博司(愛知県農業総合試験場)

講演5 福岡県の水稲栽培における斑点米カメムシ類の防除対策と課題(仮題)

清水信孝(福岡県農林総合試験場)

講演6 複数剤併用と防除強度の最適化による抵抗性遅延: 理論からの示唆(仮題)

須藤正彬(農研機構 植物防疫研究部門)

パネルディスカッション

テーマ： 使用できる薬剤に限られる場合に、発生予察と耕種的防除をどのように活用するか？
(仮題)

閉会挨拶 シンポジウム実行委員会 野田隆志 (日本植物防疫協会)

7. 懇親会

東京農業大学 学内レストラン「すずしろ」にて (17:30～)

以上